

授業科目名・形態	研究方法論 I 講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	佐藤純子・水木暢子・岩間薫・黒澤繭子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

看護における研究は、より質の高い看護ができるよう、新たな専門的知識・技術を創造し開発していくために重要である。したがって、看護研究の基本的概念や研究方法等を具体的に理解することは、看護教育においては極めて大切なことである。

【到達目標】

1. 研究の意味を理解する。
2. 研究における倫理的配慮について理解する。
3. 看護研究実践のための研究課題の発見の仕方、文献検索、研究計画の立て方、データの収集・分析、研究発表、論文のまとめ方、研究のクリティークに至る一連の研究過程を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 研究の意味・研究と倫理的配慮 (水木暢子)
 第 2 回 研究課題の発見・文献検討 (佐藤純子)
 第 3 回 研究計画の立て方 (佐藤純子)
 第 4 回 研究方法 (黒澤繭子)
 第 5 回 データの収集と分析① 量的データ (黒澤繭子)
 第 6 回 データの収集と分析② 質的データ (水木暢子)
 第 7 回 論文構成とまとめ方・学会発表の仕方 (岩間 薫)
 第 8 回 研究のクリティーク (岩間 薫)

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

様々な事象に対し「なぜ？」という視点を持ち、調べるということを身に付けてきてほしいです。

【主な関連する科目】

研究方法論Ⅱ、統計学、保健統計学(選択)、看護研究、臨地実習

【教科書等】

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step、第 5 版、医学書院、2012.

【参考文献】

1. ホロウェイ、ウイラー、野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで、2 版、医学書院、2006.
2. 小笠原知枝・松木光子編：これからの看護研究 基礎と応用、第 2 版、ヌーヴェルヒロカワ、2007.
3. 川村佐和子：看護研究 (ナーシング・グラフィカ⑩、基礎看護学)、メディカ出版、2007.
4. N.バーンズ、S.K.グローブ、黒田裕子監訳：バーンズ&グローブ 看護研究入門 実施・評価・活用、エンゼビア・ジャパン、2007.
5. 南裕子編：看護における研究、日本看護協会出版会、2008.
6. D.F.ポーリット、B.P.ハングレー、近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法、第 2 版、医学書院、2010.

【成績評価方法】

授業態度 (20%)、レポートの内容等 (80%) による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

様々な病院での看護の体験を持った教員が講義する。看護の体験を活用し、研究の視点を講義していきたいと思う。

【学生へのメッセージ】

看護職を専門職として遂行していくためには、研究は欠かせないものです。ここで、看護研究の方法とともに、研究の倫理的配慮等についてもしっかりと学んでいきましょう。